令和８年度第２回

枚方市都市計画審議会

報 告 案 件 説 明 資 料

日　時　　令和８年(2026年)11月12日(木)午後２時00分

場　所　　市役所　別館４階　第３委員会室

報 告 案 件 説 明 資 料

― 目 次 ―

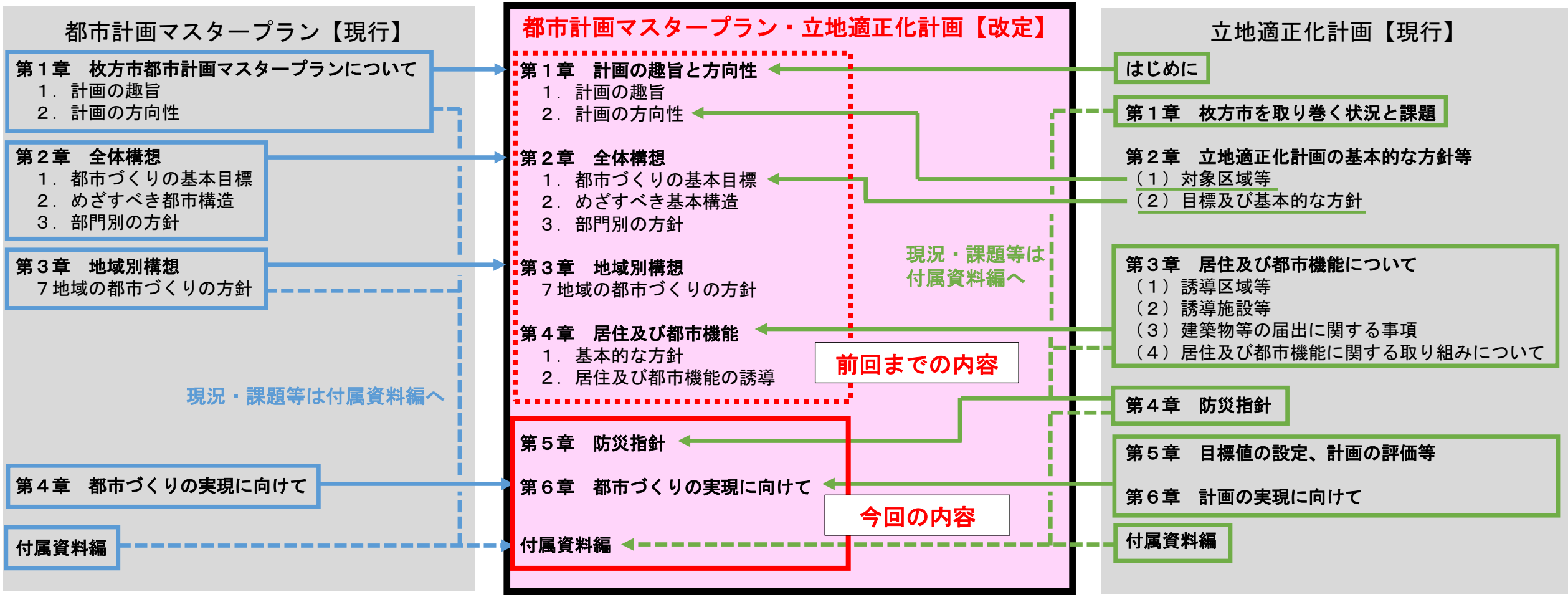
○報告案件

枚方市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の改定について　報1

報告案件

枚方市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の改定について

都市計画マスタープラン・立地適正化計画　構成



「第２章 全体構想」、「第３章 地域別構想」の前回からの主な変更内容

１.全体構想における４つの「都市づくりの基本方針」について、ピクトグラムを追加。

１．便利で快適な暮らしと地域経済を支えるコンパクトで活力ある都市づくり	
２．移動を支える交通ネットワークが充実した都市づくり	
３．平時も災害時も安全安心な都市づくり	
４．歴史、文化、自然の地域資源を生かした魅力的な都市づくり	

２．「路線バス廃止予定路線への代替交通の導入」について、全体構想と地域別構想に追記。

（全体構想）
バス路線の廃止により交通空白地が生じた場合は代替交通の導入など、交通事業者、地域及び企業・関係団体等と連携して地域公共交通の維持に取り組みます。

（地域別構想）
バス路線の廃止により生じた交通空白地に導入する代替交通については、地域と一体となり運行の維持管理に取り組みます。

「第２章 全体構想」、「第３章 地域別構想」の前回からの主な変更内容

３．地域別構想における「自転車利用環境の向上」について、対象路線を追記。

（地域別構想）
自転車の安全対策や快適な通行環境を確保し、拠点への自転車のアクセス性向上を図るため、自転車通行空間整備を推進します。

＜北部地域＞　①（市）北部区画第２号線
＜南西部地域＞②（市）岡東山之上東１号線、③（市）枚方新香里線
＜南部地域＞　③（市）枚方新香里線、④（市）新香里南線、⑤（都）新香里北線、⑥（市）山之上高田線、⑦（都）新香里中央線
＜中東部地域＞⑧（都）北山通線
＜東部地域＞　⑨（市）杉尊延寺線

※対象路線については、自転車活用推進計画の改定手続きにおいて検討中。



自転車通行空間整備　対象路線箇所図

４．地域別構想の中南部地域に位置付けている「第二京阪道路の開通に伴う周辺道路の渋滞緩和の促進」について、東部地域にも記載。

＜東部地域＞
国道307 号や枚方高槻線などにおける交通渋滞が地域の課題となっており、その緩和に向けた取組を促進します。

都市計画マスタープラン・立地適正化計画　第５章　防災指針（案）［概要］

防災指針とは、居住や都市機能の誘導を図る上で必要となる**都市の防災に関する機能の確保を図るための指針**であり、当該指針に基づく具体的な取組等を立地適正化計画に定めるもの。

１．基本的な考え方

・本指針においては、様々な自然災害のうち、近年、頻発・激甚化が著しい**水災害を対象**とします。
・**地震**については、影響の範囲や程度を即地的に定め、居住誘導区域から除くことは困難であるため、**対象から除外**します。

２．水災害リスクの分析

（１）水災害ハザード情報等の収集・整理

【ハザード情報】

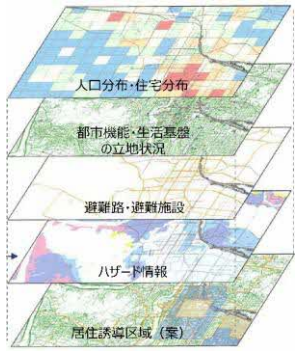
種別	ハザード情報	
洪水	想定最大規模降雨	浸水想定区域
		浸水継続時間
		家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流、河岸浸食）
	計画規模降雨	浸水想定区域
雨水出水	想定最大規模降雨	浸水想定区域
土砂災害	土砂災害（急傾斜、土石流、地すべり）	土砂災害特別警戒区域
		土砂災害警戒区域

【都市の情報】

項目	情報
人口	人口分布
都市計画情報	居住誘導区域、都市機能誘導区域
都市機能	建物分布、避難所分布、要配慮者施設分布、誘導施設分布、緊急交通路

（２）水災害リスクの高い地域等の抽出

ハザード情報	都市の情報	分析の観点
・浸水深 ・浸水継続時間 ・氾濫流 ・河岸浸食 ・土砂災害	・居住誘導区域 ・人口分布 ・建物分布 ・避難所分布 ・誘導施設分布 ・要配慮者利用施設分布 ・緊急交通路	・リスクの高い地域はあるか ・早期避難に困難があるか ・垂直避難で対応できるか ・建物が甚大な被害を受けるか ・避難所は継続利用可能か ・継続的に緊急交通路として通行可能か など



２．水災害リスクの分析

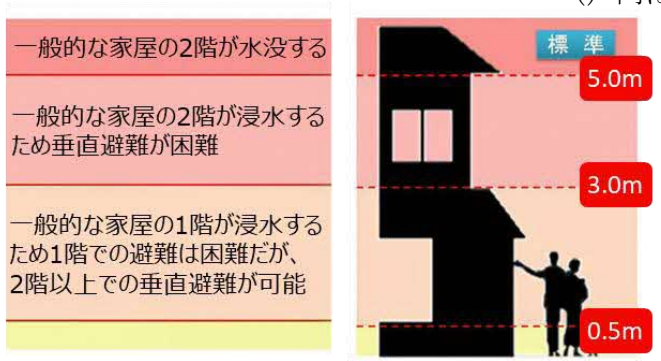
１）浸水深（想定最大規模降雨）×人口分布（総人口）

・想定最大規模降雨とは
年超過確率1/1,000程度の、想定し得る最大規模の降雨

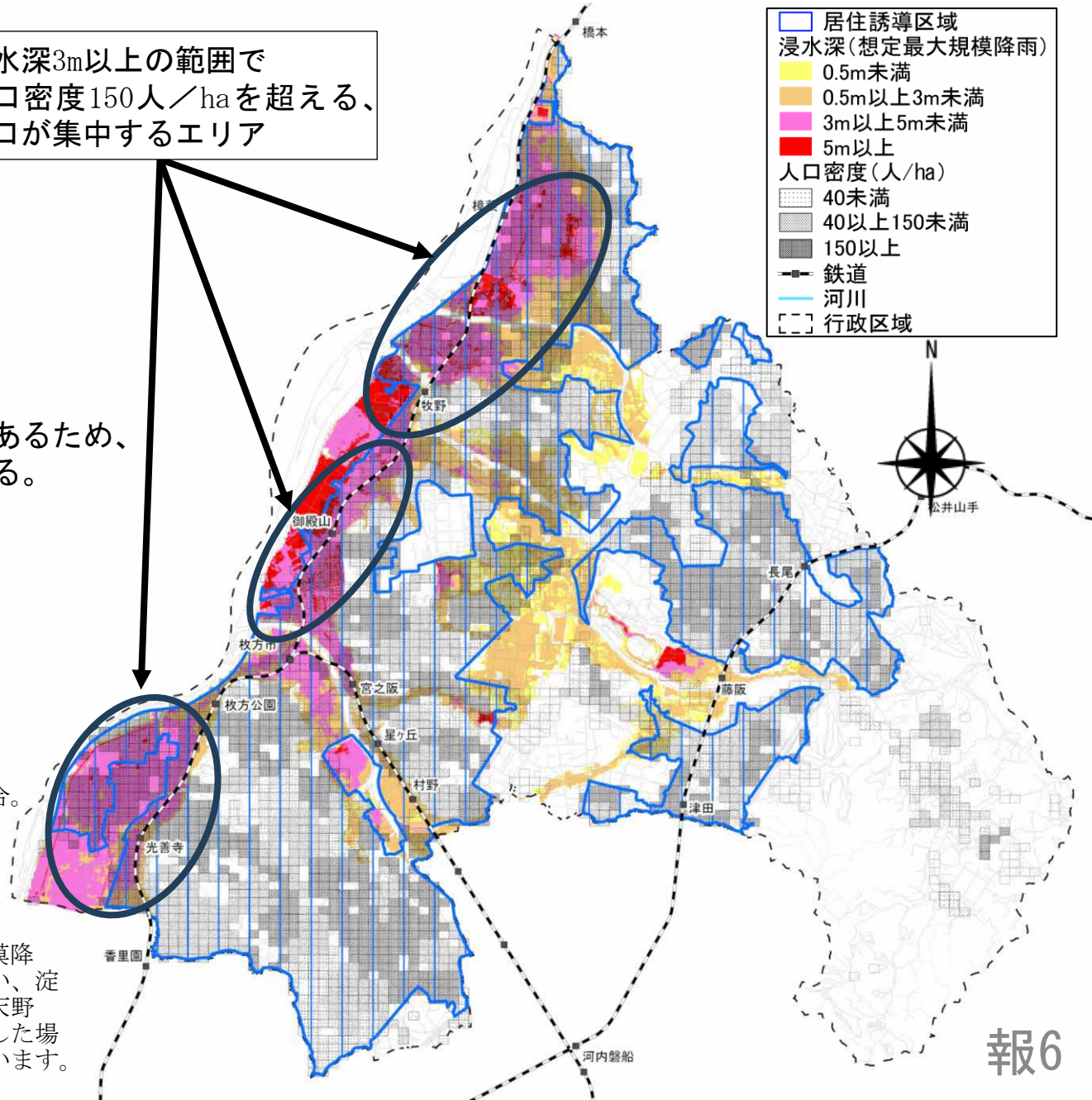
- 居住誘導区域内の人口のうち
想定最大規模降雨による浸水想定区域には**35.3%**が、
浸水深３ｍ以上の浸水想定区域には**19.8%**が居住。
- 浸水深３ｍ以上の場所は、淀川沿岸の地域で多くみられ、
150人／ha以上の**人口が集中するエリア**を含む。
- 大雨が発生した場合、戸建住宅では垂直避難が困難となるおそれがあるため、
多くの住民に避難所等への立退き避難が必要になることが想定される。

単位：人	総人口	浸水想定区域（想定最大規模）	
			浸水深3m以上
枚方市全域	397,289	140,867 (35.5%)	79,214 (19.9%)
居住誘導区域	351,539	124,016 **(35.3%)**	69,489 **(19.8%)**

（）内はそれぞれの区域の総人口に占める割合。



浸水深3m以上の範囲で
人口密度150人／haを超える、
人口が集中するエリア



※ここで示す浸水深（想定最大規模降雨）は、想定最大規模降雨に伴い、淀川・木津川・船橋川・穂谷川・天野川・藤田川・北川・前川が氾濫した場合に想定される水深を表示しています。

２．水災害リスクの分析

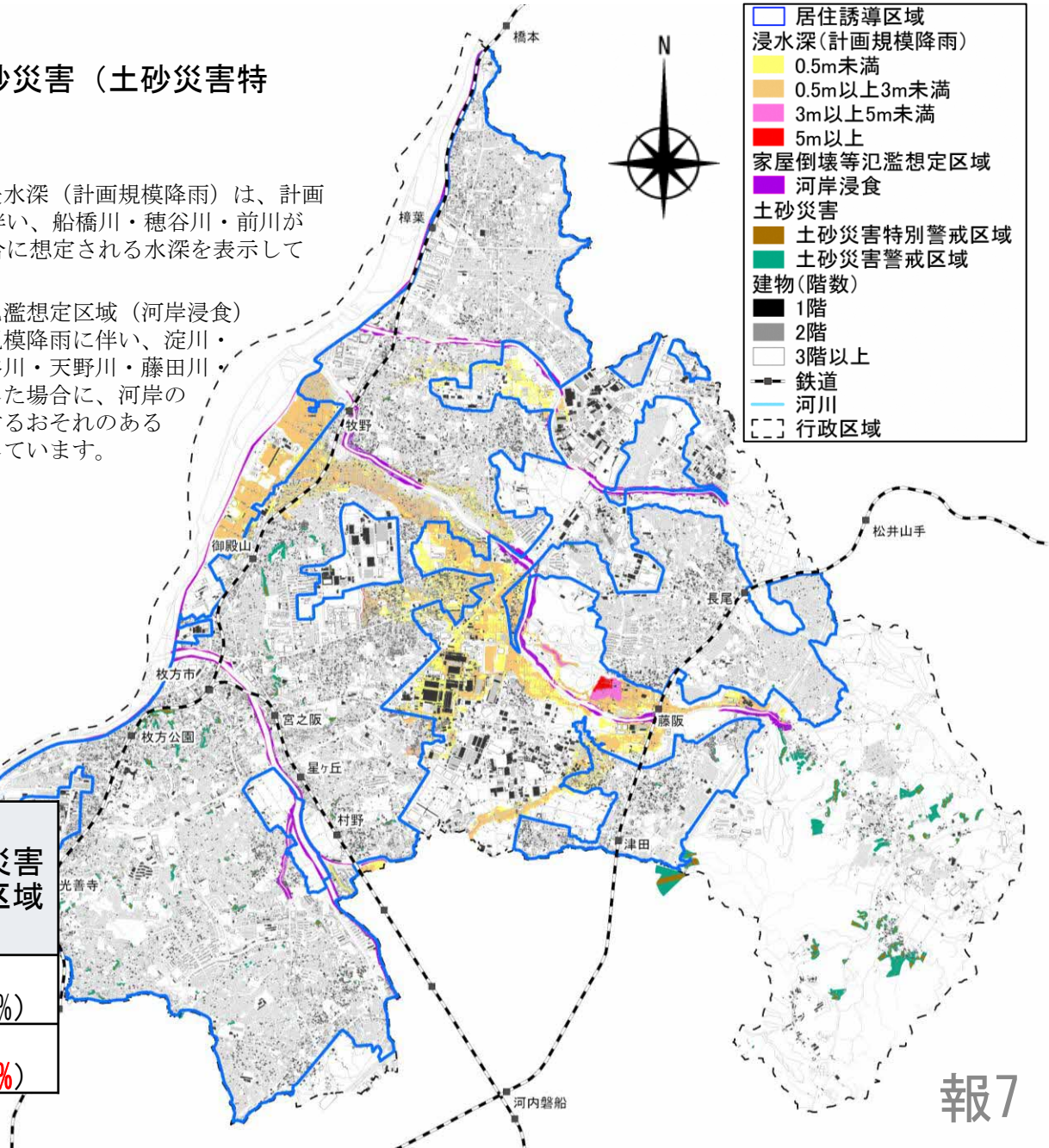
２）浸水深（計画規模降雨）×家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）×土砂災害（土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域）×建物（階数）

・計画規模降雨とは
年超過確率1/100程度の、河川整備の目標とする降雨

- 居住誘導区域のうち
計画規模降雨による浸水想定区域は、5.1%、
浸水深３ｍ以上の浸水想定区域は、**0.04%**
家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）は、**1.5%**
土砂災害特別警戒区域は、**0.2%**
土砂災害警戒区域は、**0.9%**
- 計画規模降雨は発生頻度が高く、**浸水深３ｍ以上の範囲では人命に関わる被害が想定されるため、災害リスクが特に高い**。
- 河岸浸食の範囲では、**家屋の構造にかかわらず地盤流出により倒壊・流出のおそれ**がある。
- 土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域では、**土石流や地すべりにより家屋倒壊の危険性**がある。

※ここで示す浸水深（計画規模降雨）は、計画規模降雨に伴い、船橋川・穂谷川・前川が氾濫した場合に想定される水深を表示しています。

家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）は想定最大規模降雨に伴い、淀川・船橋川・穂谷川・天野川・藤田川・北川が氾濫した場合に、河岸の浸食が発生するおそれのある区域を表示しています。



単位：ha	総面積	浸水想定区域（計画規模）	浸水深3m以上	河岸浸食	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域
枚方市全域	6,512	451.6 (6.9%)	9.9 (0.15%)	88 (1.4%)	15 (0.2%)	77 (1.2%)
居住誘導区域	3,529	180.7 (**5.1%**)	1.3 (**0.04%**)	53 (**1.5%**)	6 (**0.2%**)	31 (**0.9%**)

（）内はそれぞれの区域の総面積に占める割合

３．課題の整理と取組方針

抽出した課題を整理し、取組の方針を設定する。

災害リスク回避

※枠内の朱書き部分は現行計画からの主な変更箇所。

・計画規模降雨の洪水は想定最大規模降雨に比べ発生頻度が高く、計画規模降雨の洪水で浸水深３ｍ以上の範囲では、人命に関わるような深刻な被害に繋がる可能性が高いため、居住誘導区域から除外し、災害リスクの周知を図る。
・想定最大規模降雨における河岸浸食は発生頻度が低いとはいえ、人命に関わるような深刻な被害に繋がる可能性が高いため、河岸浸食が想定される区域は居住誘導区域から除外し、災害リスクの周知を図る。
・土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域は、人命に関わるような深刻な被害に繋がる可能性が高いため、居住誘導区域から除外し、災害リスクの周知を図る。

災害リスク低減（ハード）

・河川改修を推進し、河川施設等の点検・整備の充実を図る。
・円滑な早期避難を促進するため、居住誘導区域外の居住者の利用も考慮して、避難活動に有効となる通学路等の安全確保や道路空間再配分整備を推進する。
・雨水施設等の整備・充実を図り、浸水リスクの低減を図る。
・河川の負担軽減のため、雨水流出抑制施設等の設置を推進・指導する。
・市街地開発事業等を活用した枚方市駅周辺再整備の推進による、防災・減災力の向上を図る。
・村野駅西地区、茄子作地区においては土地区画整理事業、光善寺駅西地区においては市街地再開発事業により、宅地地盤の嵩上げ、無電柱化等を実施する。

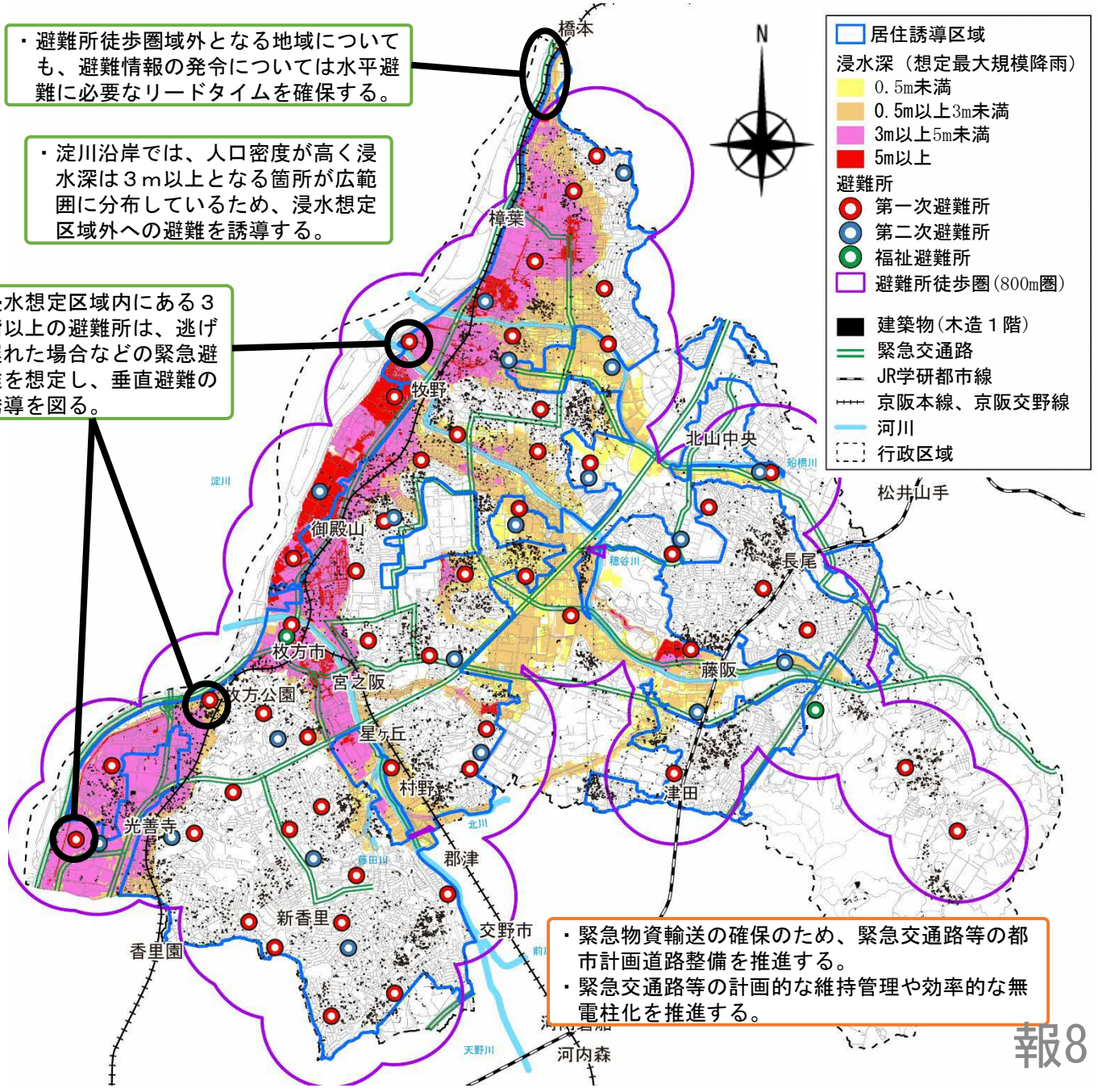
災害リスク低減（ソフト）

・防災ガイドを適宜更新・配布し、浸水範囲の周知、防災知識の普及及び意識啓発に努める。
・浸水範囲に立地する要配慮者利用施設においても、避難確保に関する計画や避難訓練の実施状況等について、定期的に確認するよう努める。
・自主防災活動の支援を行い、地域の防災力の向上を図る。

・避難所徒歩圏域外となる地域についても、避難情報の発令については水平避難に必要なリードタイムを確保する。

・淀川沿岸では、人口密度が高く浸水深は３ｍ以上となる箇所が広範囲に分布しているため、浸水想定区域外への避難を誘導する。

・浸水想定区域内にある３階以上の避難所は、逃げ遅れた場合などの緊急避難を想定し、垂直避難の誘導を図る。



・緊急物資輸送の確保のため、緊急交通路等の都市計画道路整備を推進する。
・緊急交通路等の計画的な維持管理や効率的な無電柱化を推進する。

４．具体的な取組とスケジュール

- 取組方針を踏まえ、
  ハード・ソフト両面から
  災害リスクの回避・低減に必要な
  具体的な取組を設定。

- 取組の実施にあたっては、取組を
  計画的に進めるため、
  　短期（おおむね5年程度）
  　中期（おおむね10年程度）
  　長期（おおむね20年程度）
  の達成目標について設定。

※枠内の朱書き部分は現行計画からの主な変更箇所。

→ 完了予定　⇢ 継続実施

	具体的な取り組み	実施主体	実現時期の目標 短期５年	中期10年	長期20年
災害リスク回避	届出・勧告による居住誘導区域への立地誘導	市	⇢	⇢	→
	災害リスクの高い洪水浸水想定区域における新たな開発の抑制	市	⇢	⇢	→
	土砂災害特別警戒区域内住宅の移転・補強補助制度	府・市・市民・事業者	⇢	⇢	→
	地区計画制度や市街地開発事業等による宅地地盤の嵩上げ等	市・事業者	⇢	⇢	→
災害リスク低減（ハード）	河川施設等の点検・整備	国・府・市	⇢	⇢	→
	河川改修の推進（穂谷川）	府	→	→	→
	河川改修の推進（前川）	府	完了済み		
	雨水管渠の整備及び雨水ポンプ場の機能保全	市	⇢	⇢	→
	雨水流出抑制施設等の設置を推進・指導	市・事業者	⇢	⇢	→
	高齢者施設等の水害対策強化事業 障害者施設や障害児支援施設等における防災・減災対策	市・事業者	⇢	⇢	→
	緊急交通路等の都市計画道路整備を推進	国・府・市	⇢	⇢	→
	緊急交通路等の計画的な維持管理や効率的な無電柱化を推進	国・府・市	⇢	⇢	→
	通学路等の安全確保や道路空間再配分整備を推進	市	⇢	⇢	→
	止水板の設置	市・市民・事業者	⇢	⇢	→
	市街地開発事業等を活用した枚方市駅周辺再整備の促進	市・事業者	⇢	⇢	→
	村野駅西地区、茄子作地区の土地区画整理事業の促進	市・事業者	→		
	光善寺駅西地区の市街地再開発事業の促進	市・事業者	→		
災害リスク低減（ソフト）	事前防災　防災ガイドなどを用いた情報発信	市	⇢	⇢	→
	住民の防災知識の普及と意識啓発	市・市民	⇢	⇢	→
	学校安全計画に基づく安全教育の充実	市・市民	⇢	⇢	→
	要配慮者利用施設の避難確保計画作成・見直し	市・事業者	⇢	⇢	→
	避難行動要支援者全体計画の策定	市・市民	完了済み		
	防災訓練の実施・指導	市・市民	⇢	⇢	→
	緊急物資等の確保・備蓄	府・市	⇢	⇢	→
	災害の迅速かつ適切な情報発信	市	⇢	⇢	→
	災害協定の締結	市・事業者	⇢	⇢	→

【目標値の設定】

・本計画に基づく**施策の効果を調査、分析及び評価**するため、評価指標とその目標値を設定。
　⇒**居住、都市機能、公共交通、防災、財政**の観点で、客観的かつ定量的な分析及び評価ができる
　　評価指標と目標値を設定。

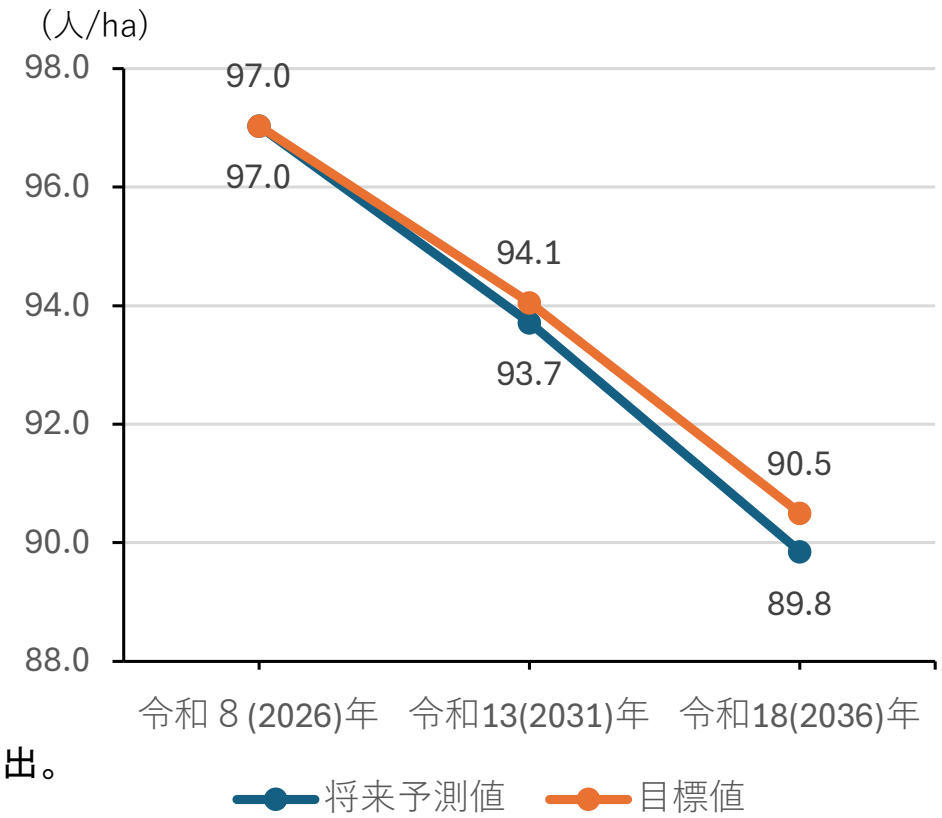
・計画期間：令和９（2027）年度～令和18（2036）年度
・目標年次：令和18年度

・計画期間の中間時期である令和13（2031）年度に、中間目標値を設定。
　⇒中間評価を実施し、その評価結果などを踏まえ、必要に応じて計画の見直しを実施。

①居住に関する目標値　：　居住誘導区域内の人口密度

・市街地を拡散せず、**居住誘導区域へ居住を誘導**することを目的に設定。

年　　次		居住誘導区域内人口密度（人口）
令和８年度	現況値（推計値）	約97人/ha（約34.2万人）
令和13年度	将来予測値	約94人/ha（約33.1万人）
	中間目標値	**約94人/ha（約33.2万人）**
令和18年度	将来予測値	約90人/ha（約31.7万人）
	目標値	**約91人/ha（約31.9万人）**



※国勢調査を基に、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口」から算出。

②都市機能に関する目標値　：　誘導施設の立地率

・各都市機能誘導区域内において、**既存の都市機能の維持**を主たる目的として設定。

年　　次		誘導施設の立地率
令和８年度	現況値	約97%
令和13年度	中間目標値	現況値以上
令和18年度	目標値	現況値以上

③公共交通に関する目標値　：　地域公共交通人口カバー率

・将来にわたり**地域公共交通を維持**することを目指して設定。
・枚方市総合交通計画との整合を図る。

年　　次		地域公共交通人口カバー率
令和８年度	現況値※	86.8%
令和13年度	中間目標値	現況値以上
令和18年度	目標値	現況値以上

※現況値は、枚方市総合交通計画における令和6年度時点の数値を引用。

④防災に関する目標値　：　市の防災に関する取組への市民満足度

・災害に強い都市づくりを目指して設定。

年　　次		市の防災に関する取組への市民満足度
令和８年度	現況値	約64%
令和13年度	中間目標値	約67%
令和18年度	目標値	約70%

⑤財政に関する目標値　：　居住誘導区域内の地価公示

・市街地を拡散せず、居住誘導区域へ居住を誘導し、区域内の税収に寄与する地価の維持を目指して設定。

年　　次		居住誘導区域内の地価公示
令和８年度	現況値	約179,000円/㎡
令和13年度	中間目標値	現況値以上
令和18年度	目標値	現況値以上

【改定スケジュール】

令和７年７月	都市計画審議会へ中間報告 改定の背景とポイント、アンケート調査の実施概要 アンケート調査の実施（実施時期：令和７年７月１日から31日まで）
令和８年３月	都市計画審議会へ中間報告 基礎調査結果、現計画の評価、アンケート調査結果 両計画の改定の方向性（全体構想の検討）
令和８年８月	都市計画審議会へ中間報告 全体構想（案）、地域別構想（案）、居住及び都市機能（案）
令和８年11月	**都市計画審議会へ中間報告** 防災指針（案）、都市づくりの実現に向けて（案）、 計画（案）
令和８年11月～12月	市民説明会の開催
12月	パブリックコメント
令和９年２月頃	都市計画審議会に意見聴取
３月頃	両計画の改定・公表